

編集後記

『マレーシア研究』第6号をお届けします。発行が大幅に遅れたことをお詫びします。今号は「サラワクから見るマレーシア」というタイトルで開かれたシンポジウム（2016年12月）をもとに、特集号を組みました。これまで、サラワクを含む東マレーシアに関する研究が本紙に掲載されることは少なかったのですが、これを機に、東西マレーシアを含みこんだ、あらたな

マレーシア研究へのヒントが得られればと思います。昨年掲載できなかったものも含め、エッセイ24編をまとめて収録しています。関係者の皆さまにはお詫びすると同時に、ご協力をお礼申し上げます。（祖田）
〔第6号編集担当〕
祖田亮次（委員長）、坪井祐司、信田敏宏、篠崎香織、光成歩、山本博之

投稿募集

『マレーシア研究』への投稿を募集しています。下記の投稿要領およびJAMSウェブサイトに掲載されている募集要領に沿って原稿をお送りください。

- ・投稿は随時受け付けております。
- ・投稿先：編集委員会

(malaysia_studies@jams92.sakura.ne.jp)

投稿要領

『マレーシア研究』は日本マレーシア学会の会誌であり、広い意味での「マレーシア研究」に関する論説、研究ノート、書評論文、および書評を掲載する。刊行は1年に1回とし、投稿は随時受け付ける。

1. 投稿資格：会費を納めた会員および編集委員会が依頼した執筆者とする。
2. 投稿内容：未発表のものに限る。ただし、学会、研究会での口頭発表はこの限りではない。また、同一の原稿を本誌以外に同時に投稿することはできない。
3. 使用言語：投稿原稿で使用できる言語は日本語とする。ただし、注記などにおいてはその他の言語を使用できる（日本語・アルファベット以外の文字を使う場合は編集部と相談すること）。また、採用された原稿については英文要旨を併せて掲載する。
4. 原稿の種類：論説、研究ノート、書評論文、書評の4種類とする。投稿原稿の枚数は40字×30行を1枚と換算して、論説が15～20枚、研究ノートが10～20枚、書評論文が5～10枚、書評が2～5枚とする（いずれも注・図表・参考文献を含む）。原稿に挿入される図表については、大小にかかわらず3点を1枚と換算する。
5. 執筆要領：投稿に際しては、本学会のホームページ

に掲載された「執筆要領」に準拠した完成原稿を提出する。また、論説、研究ノート、および書評論文については、論文要旨（1200字程度）を提出する。

6. 査読制度：投稿された原稿は、レフェリーによる審査結果を考慮の上、編集委員会が採否を決定する。
7. 英文要旨：採用された場合には約400語の英文要旨を提出する。英文要旨は提出前にネイティブ・チェックを受ける。ネイティブ・チェックにかかる経費は投稿者が負担するものとする。また、編集委員会が必要と考えた場合、同委員会は投稿者の経費負担によりネイティブ・チェックをかけることがある。
8. 著作権：本誌に掲載されたすべての原稿の著作権は日本マレーシア学会に帰属する。なお、原著者が本誌に掲載された文章を他の出版物に再録しようとする場合には、編集委員長に申請し許可を得る。
9. ホームページ上での公開：『マレーシア研究』に掲載されたすべての原稿は、日本マレーシア学会のホームページにて公開する。
10. 投稿先：投稿先および問い合わせ先は下記のとおりとする。なお、投稿に際して、投稿者は、氏名（ふりがな）、所属、連絡先の住所・電話番号・E-mailアドレス、投稿題目、原稿の種類を明記する。

『マレーシア研究』第6号

発行：2017年10月30日

発行者：日本マレーシア学会（JAMS）

（ウェブサイト）<http://jams92.org/>

（連絡先）〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1

北九州市立大学外国語学部 篠崎香織研究室

発行責任者：金子芳樹

編集責任者：祖田亮次

Malaysian Studies Journal

Vol. 6 (October 30, 2017)

Editorial Office: Japan Association for Malaysian Studies (JAMS), c/o Shinozaki Kaori, Faculty of Foreign Studies, University of Kitakyushu, 4-2-1 Kitagata, Kokura Minami-ku, Kitakyushu, 802-8577, Japan.

Website: <http://jams92.org/>

© 2017 Japan Association for Malaysian Studies (JAMS)